Public Relations
No.86 2026.9.1

FUKUTSU

明日を思う。暮らしを思う。

議会だより ふくつ 夏号

特集

投票率100%は不可能か？

4月臨時会・6月定例会 contents

特　集　P2　／　議案審議　P6
賛否表　P7　／　一般質問　P8
委員会調査リポート　P12
議会基本条例制定、おたよりカフェ　P14



隈 瑛斗（くま あきと）
福間中学校 生徒会長





投票率100%は不可能か？

令和８年12月27日、福津市議会議員選挙が行われます。そこで、今号は『選挙』、さらには投票率にも焦点をあてています。『選挙』を少しでも身近なものとして考えていただきたい！そんな思いで今号の特集を組みました。ぜひ、ご感想やご意見等をいただけると幸いです。



福間中学校 生徒会長 隈 瑛斗（くま あきと）さん

福間東中学校 生徒会長 徳永 響奏（とくなが なる）さん

津屋崎中学校 生徒会長 藏本 光秋（くらもと てるあき）さん

生徒会選挙に自ら候補者としても関わった、３中学校の生徒会長が『選挙』について存分に語ってくれました。

Q 生徒会長に立候補した理由は？

隈さん きっかけは「ＭＦＫｓみらい塾」に参加したこと。古賀市長やさまざまな講師と話をすること、参加者同士でコミュニケーションすることを通じて、いろんなことを学んだ。これを生かすには、生徒会長になるしかない！と思い立候補した。

徳永さん 僕の名前は響き奏でると書く。だから東中をみんなの笑い声で響きたいと思ったから。そして、奏でたいという思いから生徒会長に立候補した。

藏本さん 兄が昨年は生徒会副会長、一昨年は書記をしていた。家でも学校でも兄の活躍を見てカッコいいと思っていたこと、ルールやマナーを守りながら元気で楽しい学校をつくりたい！と思ったから、生徒会長に立候補する決意をした。

Q 生徒会長になってみてどうだった？

隈さん まず感じたことは、人をまとめることの大切さ。生徒会みんなの考えがバラバラだったので、一番に生徒会テーマを「クローバー」に決めた。そこからは、向かいたい方向へ意見交換などをしながら前進し、みんなで協力して課題を克服する楽しさを知った。

徳永さん 生徒が自分たちのことを発信する機会がないと思い、新たに生徒会新聞を立ち上げて、月１回の発行を続けている。最初は１人で全部つくっていたが、今は生徒会みんなと一緒に協力して発行していて、新聞がさらにバージョンアップできた。新聞タイトルは「笑う東に福来る」。

藏本さん 思っていた以上に、たくさんのことが降りかかってきた。勉強と部活に加えて生徒会の仕事などが山積みになり、最初は難しかった。でも、体育祭などが終わった後、みんなの笑顔を見たときの達成感が一番印象に残っている。今では、楽しくやらせてもらっている。



中学校の生徒会長に選挙について聞いてみた





Q 過去の生徒会選挙で何を考えて投票した？

藏本さん まずは公約を見て。この人なら津屋崎中を良い方向にもって行ってくれるかなと思う人。あとは演説会での印象や話し方を見て、この人なら学校を変えてくれると思った人に投票した。

徳永さん 何と言っても「東中愛」がどれだけあるか。友達への愛や仲間意識、先生や地域の方々への感謝の気持ち、学校を良くしたいという愛情あふれた思いがどれだけあるかが大切。ちなみに僕が一番、東中愛が強いんですけど。

隈さん 一番は公約やスローガンを見て。学校をこう変えたいというような未来像がしっかりしている人。この人に投票すれば学校がもっと良くなっていく、楽しくなっていくということを意識して投票した。

Q どうして選挙が必要だと思う？

藏本さん 生徒会選挙は全校生徒が投票するもの。だから生徒全員の思いが詰まった人が選ばれる。同じように市民全員が投票すれば、みんなが目指すような市をつくる事ができると思う。だから『選挙』は必要。



徳永さん 今は個性が大事にされる時代。いろいろな考えを受け止めてまとめる人が必要。リーダーや生徒会長は主役ではなく、生徒一人ひとりが自分らしく輝けるように考えて、土台をつくっていく事が大切だと思う。だから『選挙』が必要。

隈さん 例えば国のトップがずっと同じだったら、政策や中身は何も変わらない。それはみんなの声が届いていないということ。『選挙』をすることで新しい考えを入れることができる。みんなの声を届けるために『選挙』が必要だと思う。



Q どうしたら投票率が上がると思う？



まずみんなに知ってもらうこと、そして気軽に投票

候補者自身が自分のことをどんどん発信することが大事。そして身近なネット環境やスマホなんかで、その場で投票できるようになれば、忙しくても投票ができ100%近くになる。



若者・高齢者・過疎地について３つ提案

①選挙に行かない若者対策として、何か公的な料金を上乗せする。
②高齢者は病院でカード読み取り時に投票可能に。
③投票所が遠い地域は車の移動式投票所を。



投票所に行かなくても投票ができる

忙しい方、身体が不自由な方でも、インターネット投票であれば、投票所に行かなくて投票ができる。
ただ、ネットを使い慣れていない人は難しい。そこはよく考えないといけない。

インタビューを終えて

紙面に載せられたのは、ほんの一部の発言。全部を載せられないことが本当に残念に思えるほど、素晴らしい意見がたくさん出されました。

まだ選挙権がない中学生が真剣に『選挙』について考えてくれたことに感謝の思いでいっぱいです。

「３年後に選挙権を持つことになるけど、選挙に行きますか？」の問いには、全員が「必ず行きます！」と頼もしい答えが返ってきました。

次ページは選挙権をもつ「市民の声を聞いてみた」です。どんな意見が出されているか…。



投票について市民の声を聞いてみた





Q この数字は何？ 37.0%

答えは、投票率！

令和4年12月25日に行われた、福津市議会議員選挙の投票率は、福津市誕生から約20年の中で歴代最低の投票率でした。このことは、議員の一般質問に取り上げられ、重く受け止められる結果となりました。

投票率が高ければ高いほど、民意が反映されている選挙結果となるのが日本の選挙制度です。

今回は、市民にインタビューを実施して、「投票率を上げるには？」、「選挙に行くきっかけは？」等をお答えいただきました。皆さんは、どのような意見を持っているのでしょうか。



佐藤 満（さとう みつる）さん

選挙のイメージは？
大人としての権利。

選挙へ行くきっかけは？
受かってほしい候補者がいるので行っている。

投票率を上げるには？
・インターネットでの投票があればと思う。
・新人候補者は公約、現職は実績などを、より見えるようにしたほうがいいのでは。

選挙に行く派!!



内薗 貴大（うちその たかひろ）さん

選挙へ行くきっかけは？
以前は、夜勤があっていく時間がなかったが、今は知人に頼まれるので必ず行く。

国政・地方選挙はどちらへ行っている？
どちらも行っている。国政は、子どもの未来のために。地方は住み良いまちになってほしいから。

投票率を上げるには？
・インターネット投票。
・入院中や入所中の人が、不在者投票ができる医療機関や福祉施設がもっと増えたらいいと思う。



秀野 真理（しゅうの まり）さん

選挙へ行くきっかけは？
子どもたちを守ってくれる仕組みを考えてくれる候補者に投票するため。

投票率を上げるには？
・落ち着いて演説が聞ける機会があればいい。
・子育て中のお母さんたちに向けた、選挙サロンみたいな、選挙について話せる場もあればいいなと思っている。

他にはこんな意見も
- 市議選の時期を変える
- 「選挙割」の導入
- 投票の大事さを教育
- もっと広報を！
- 不参加へのペナルティ

etc…

議会の追跡調査

過去に議員が投票率についての一般質問を行いました。その後、どうなったのかを追跡しました。

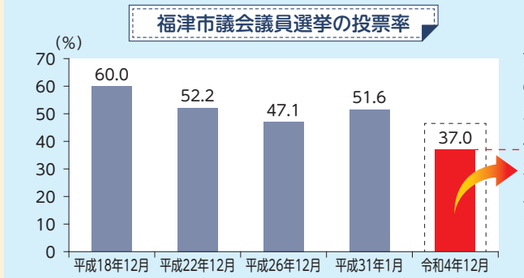
令和5年3月 一般質問

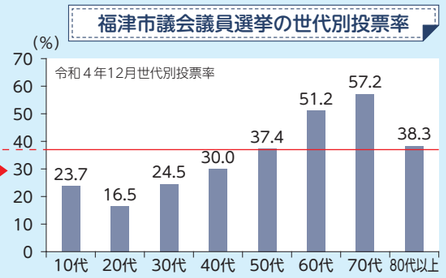
問 先の福津市議選の投票率は37%と過去最低だった。
①特に投票率が低い10～20代の若年層への取り組みは。
②高齢者や障がい者の投票機会の確保への取り組みは。
③利便性向上のため、商業施設での期日前投票や選挙割等を本市でも実施する考えは。

答 ①市内県立高校での出前講座や、小・中学校での主権者教育、「親子で投票へ」等、選挙を身近に感じるPRが大切。
②障害者手帳保有者や要介護5認定者の郵便投票制度の周知。病院や施設等での不在者投票の拡充をめざしたい。
③投票率の向上へ取り組みを検討・調査・分析していく。

あれから進んだのか？
前回の市長選挙では、中学生のポスター作品を活用して啓発を実施。現在、投票率向上を図るため、投票所への移動支援の拡充を検討している。

データでみる 福津市議会議員選挙







- 誰に入れていいのかいまいちわからない。
- 投票所にいくのが面倒。
- 仕事が忙しいので行けない。
- 知人でもないし、頼まれてないので行かない。
- 正直、行く意味がよくわからない。
- 自分が1票入れたところで何も変わらない。
- 結果がいつも期待外れ。

Q どうして選挙に行かないの？

選挙に行かない派!!

- 面白いことがあれば行くと思う。
- 強制されない限り、多分行かない。
- 行かなければ、やばいことになるのであれば行くのかも。
- 時間があれば行くかもね。
- 子どもが行きたいと思える場所にすれば行く（お菓子やジュースがもらえる等）。

Q どうなれば選挙に行く？

- 生活必需品（ゴミ袋、サランラップ等）がもらえるなら行く。
- ネット、郵送、コンビニやスーパーで投票など、「投票しやすさ」が重要。
- 3カ月で結果を出せなければ再選挙（選挙費用は自腹）とか、選挙を面白くしてほしい。
- 不在者投票の簡素化。

投票率100%は不可能か？

「投票率アップ」はよく議論されるテーマです。今回、なぜ投票率が100%にならないのか、投票率を上げるために何が必要か、を知るために各中学校の生徒会長、市民の皆さんから、それぞれ率直な声を聞きました。取材を進めていく中で、生徒会長からは、学校内で生徒会選挙を経験したからこそ、真っ直ぐで大人にとって少し耳が痛い意見を聞くことができました。また、投票に行かない人からは率直な本音を知ることができました。投票環境、政治への距離感は依然として課題であると感じました。

選挙権は、私たちが有する権利です。次回の福津市議会議員選挙は12月27日に行われます。もし、この選挙が投票率100%になったらどうなるのでしょうか？皆さんの生活にどんな影響が出てくるのでしょうか。一緒に想像してみませんか。そして、ぜひ投票に行きましょう。

議案審議

議案等が議会に提出されてから議決されるまでの審議・審査の内容を報告します。

4月臨時会
6月定例会

予算審査（補正）特別委員会

【一般会計】1億5347万円を追加し、総額337億7926万円となった。

可決

主な内容

生活保護事務費
平成25年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえ、保護費の追加給付を行う費用。加えて、令和8年度給付分は新たな水準を反映した額に増額補正を行う費用。
1億1179万円

事務局一般管理費（教育）
いじめ・不登校等の未然防止等に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究を行う費用。
300万円

農業用施設災害復旧事業費
令和7年8月に発生した大雨により被災した招池、薬師池、辰ヶ鼻池、奥野池、導本池の下流排水路、寺前池道路の復旧工事費用。
1億4355万円


▲災害復旧工事予定の招池

道路橋梁災害復旧事業費
令和7年8月に発生した大雨により法面が崩落した若木台団地38号線について、復旧工事を行うJR九州に対し負担金を支払う費用。
8000万円

農林水産業経営強化事業費
大区画化等加速化推進事業、活力ある高収益型園芸産地育成事業、強い農業構造確立推進事業、ふくおか畜産競争力強化対策事業を行う費用。
1576万円

総務文教委員会

4月臨時会

工事請負契約を締結

新設小学校の児童が通う新設小学校学童保育所新築工事の工事請負契約。

可決

主な質疑

問 今後の社会情勢変化で当初の予定価格を上回る可能性に対する想定は。また、資材不足等により工期が遅れる可能性は。

答 資材価格の高騰については、契約の影響等の話はないが、契約締結後でも誠実に対応をしていく。工期についても2月25日完成に向け、施工業者と密に協議を行う。


▲新設小学校学童保育所の建設現場

6月定例会

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を改正

市長の給料を令和8年7月1日から令和11年3月5日までの期間、10％を削減する条例改正。

否決

主な質疑と意見

問 3月定例会で否決した議案を再提案した理由は何か。給与削減分を教育関連事業に活用するとしていた3月定例会での説明と、今回の提案説明の関係性はどうなっているのか。

答 厳しい財政状況の中で、一般財源の確保につなげたいという市長の強い思いがあり、再提案したものである。給与削減によって確保される財源は一般財源であり、教育関連事業に使途を特定するものではない。

反対 3月定例会で否決された議案と実質的な変更がないこと。また、財源確保は給与削減ではなく市政運営のなかで財源確保を図るべきと考えるため反対。

財産の取得

消防ポンプ自動車1台購入。

可決

主な質疑

問 13社を指名した入札で多数の事業者が辞退した理由は。

答 「入札に関して対応が難しい」「仕様を満たすことができない」等の理由で辞退。

問 消防ポンプ自動車の仕様について、ガソリン車および二輪駆動を採用した理由、ナビ搭載をしなかった理由は。

答 既存車両と同様の仕様としており、四輪駆動が必要な状況にないと判断している。また、ナビ搭載については、消防団車両全体で検討すべき課題であり、今後の市全体としての対応について検討していきたい。

報告書はこちら


▲消防ポンプ自動車

市民福祉委員会



税条例を改正

地方税法の一部改正に伴い暗号資産の課税方式等、関連する市税条例を改正。

可決

主な質疑

問 特定暗号資産に関する確定申告への対応は。

答 分離課税については、これまで通り香椎税務署で申告していただく。

学童保育所条例を改正

新設小学校学童保育所を開所するため条例を改正。

可決

主な質疑と意見

問 福間小や津屋崎小から新設小学校に通う児童や保護者への周知方法と時期は。

答 指定管理者が受付事務を行う。周知は11月を予定。

問 定員は140人だが、入所する児童数の把握は。

答 児童数は確定していないが、定員内と考えている。

反対 開所予定地は土地や周辺地域の安全性への懸念が残っているため反対。

報告書はこちら

本会での発議

議会基本条例を制定

提出者　議会運営委員会
委員長　戸田　進一

可決

目的

二元代表制のもと、議会および議員の責務と役割、議会と市長等、議会と市民との関係を明らかにし、市民に身近で開かれた議会となることを目指し、市民福祉の増進と公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的に、本条例の制定を行う。



▲パブリックコメントを経て議会基本条例を制定

議会会議規則を改正

提出者　議会運営委員会
委員長　戸田　進一

可決

目的

議会基本条例制定に伴い、陳情書にかかる議会会議規則の一部を改正。

【意見書】

非核三原則の堅持を求める意見書を提出

国へ提出

提出者　井手口　忠信

可決

主な意見

賛成 唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶と恒久平和のため、非核平和宣言都市である本市から国へ非核三原則の堅持を求めるべき。

【意見書】

ホルムズ海峡情勢の影響から市民生活と地域経済を守るための対策を求める意見書を提出

国へ提出

提出者　岩下　豊

可決

主な意見

反対 中小企業賃上げの税制改善は、以前から構造的問題であり、意図が伝わりにくい。

賛成 賃上げ支援制度の問題は、この危機で一層深刻化しており、国の支援は必要。

【意見書】

豊かな学びの実現・教職員定数改善を図るための、令和9年度政府予算に係る意見書を提出

国へ提出

提出者　石田　まなみ

可決

公開します。みんなの賛成と反対

4月臨時会、6月定例会

結果	案件＼議員名	大山 隆之	中村 恵輔	山本 祐平	岩下 豊	井手口忠信	倉元 敏徳	佐伯 美保	秦 浩	石田まなみ	中村 晶代	尾島 武弘	豆田 優子	戸田 進一	榎本 博	米山 信	中村 清隆	髙山 賢二
4月臨時会																		
承認	専決処分した事件の承認（令和7年度一般会計補正予算（専決第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長は表決に参加しません
承認	専決処分した事件の承認（税条例の一部を改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認	専決処分した事件の承認（国民健康保険税条例の一部を改正）	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	
可決	工事請負契約を締結（新設小学校学童保育所新築工事）	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
6月定例会																		
可決	令和8年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
可決	令和8年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
否決	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を改正	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	●	●	○	●	○	
可決	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	税条例を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	学童保育所条例を改正	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
可決	議会基本条例を制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	議会会議規則を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	非核三原則の堅持を求める意見書を提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	ホルムズ海峡情勢の影響から市民生活と地域経済を守るための対策を求める意見書を提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善を図るための、令和9年度政府予算に係る意見書を提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成　●は反対　ーは欠席　＊は棄権

市政を問う!!

一般質問という議員主導の政策論議



今回は15人でした

髙山 賢二 議長

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

広域農道の復旧工事が７月入札の理由は

答弁 工事設計書を作成し、国の審査を受け、７月入札となった



倉元 敏徳 議員

問 広域農道の復旧工事はガス管工事が終了しているが、未だ道路工事に着手していない理由は。

また、昨年請願が採択された在自山林道と遊歩道の対策について伺う。

答 被災後、本市は激甚災害指定を受け、国の簡素化査定が適用になったため、査定後に工事の詳細測量や実施設計を行う必要があった。国や県との詳細な協議を４月末まで行い、工事設計書を作成し、国の審査後、５月起工、７月の入札となった。

請願採択後、県と現地確認の結果、治山ダムの整備等は県においても難しいとの意見があり、排水側溝等の適正管理での対応とし、昨年のような災害への対処は現状では難しいと考えている。



▲ガス管工事終了後の広域農道

国が示した地域未来戦略、市の考えは

答弁 市の総合戦略と合致するものか、確認を行っていきたい



榎本 博 議員

問 地域未来戦略は施策の実行状況を具体化、高度化等が示されている。一方で福津市中小企業振興基本計画は、事業者が事業計画を策定した数や研修に参加した数を指標としている。しかし、事業者や創業者の収益増、継続性が示される指標が必要と考える。事業者の収益増が税収にどう影響するかが重要である。市の考えは。

答 次の総合戦略の策定の際には指標をどのように設定するのか、国の指標の考え方を念頭に置きながら検討する必要がある。またさまざまなまちづくり計画を策定、更新する中で、指標設定の課題と重要性をしっかり認識し、全庁的かつ前向きに取り組んでいきたい。



▲令和7年に改訂された総合戦略の計画書

心のＳＯＳを受け止める相談機能は

答弁 市に適した相談体制を総合的に検討する

石田 まなみ 議員

問 心のＳＯＳを受け止める相談支援の専門性や伴走支援の必要性は。

また、地域の気づきと行政の支援をつなぐ仕組みづくりは。

「ふくつこころと生き方の相談」の役割を踏まえ、心の悩みを抱える人への専門的な相談機能を今後どのように確保していく考えか。

答 心のＳＯＳを受け止める専門性や伴走支援は重要である。

地域の気づきと行政の制度が連携できる支援体制づくりに努めていく。

「ふくつこころと生き方の相談」は一定の成果があったと認識している。今後はさまざまな要素を総合的に考慮して、本市として適した相談体制を考えていきたい。



▲安心して相談できる福津市へ

いじめ対応には第三者的介入が必要では

答弁 必要性は感じているが慎重に考えて取り組む必要がある



山本 祐平 議員

問 こども家庭庁では、学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の実証事業を推奨している。その先進事例の寝屋川モデルを知っているか。

財政状況が厳しいからこそ国の実証事業に手を上げるべきでは。

答 寝屋川モデルは教育的アプローチ、行政的アプローチ、法的アプローチによる連携体制を取っている。いじめの早期発見と早期対応、保護者と児童・生徒の相談しやすい環境や教職員の負担軽減も期待される取り組みであると考えている。

本市にとっても有力な選択肢の一つとは受け止めている。まずは情報収集と国への相談を前向きに進めていきたい。



▲いじめ対応で成果を上げている寝屋川市の監察課

自治会未加入者へ必要な情報伝達方法は

答弁 デジタル回覧板活用の市町村へ自治会ＤＸの調査を行う



中村晶代 議員

問 近年、生活様式の多様化等に伴い、自治会未加入者が増加し隣組が解散した地域もある。地域住民からは回覧板が無くなり、身近な防災情報や日常の行政サービス等の情報が届かず不安との声を聞く。総務省は自治会ＤＸとデジタル回覧板の普及を推進し、近隣市町村でも広がっているが、本市の取り組みは。

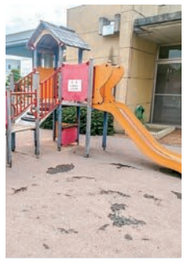
答 自治会加入・未加入に関わらず、市民の生命と財産を守るための情報を公平に届けることは市の責務である。広報ふくつや市公式ライン等で全世帯への情報伝達に努めているが、地域の身近な情報は紙の回覧板が基本で、デジタル版利用は少数である。近隣市の先進事例を調査したい。



▲紙の回覧板とデジタル回覧板の併用を進めては

宮司コミセンに新たな遊具の設置は

答弁 新たな遊具を設置する計画はないが老朽化対策が課題



▲設置後22年経過している宮司コミセン遊具

問 市内にはボール遊びができる公園が少ない。ボール遊びができる公園を作る計画はあるのか。

また、公園の複合遊具は木製が多い。今後、樹脂製の複合遊具を取り入れていく考えはあるか。宮司コミセンも設置後22年経つ遊具が一つあるが、他の遊具や自然を利用して遊ぶようなものを設置する考えは。

答 新たにボール遊びができる公園を整備する計画はない。樹脂製の複合遊具については、地域にある公園の遊具の更新を考える際には、公園の広さ等も含めて考慮していく考えである。宮司コミセンについては、今回の提案を参考にしながら、適正な維持管理に努めていきたい。



秦 浩 議員

公共下水道事業の課題と今後の見通しは

答弁 一般会計への依存度が高く、市全体の事業に大きく影響



▲基幹インフラ施設
福間・津屋崎浄化センター

問 公共下水道事業は公営企業で、独立採算の原則が適用される。今後10年の事業費見込みと、現在の使用料水準の見解は。

また、市全体の事業への影響をどう考えるか。

答 独立採算が原則だが、一般会計に依存せざるを得ない状況。10年間で事業費約１３４億円が必要。本来、使用料で維持管理費や施設更新費を賄う必要がある。現在の使用料は、適切な水準には達していない。

市の事業全体に大きな影響を与えることを懸念。将来にわたり安定した下水道サービスを提供するために、料金改定は避けられない。経営の効率化や経費削減に努め、使用料改定の時期を見極め、判断していく。

中村 清隆 議員

生活困窮者自立支援事業の拡充は

答弁 必要に応じて見直しながら福祉行政を推進していく



▲生活困窮のご相談は生活支援課へ

問 物価高騰や雇用環境の変化により生活困窮リスクが高まっている。また、経済的困窮だけにとどまらず、社会的孤立、就労不安、家庭環境等の複合的な課題を抱えるケースが増加している。

国の調査では、福岡県下56自治体で実施されている就労準備支援事業が、本市を含む４市のみ未実施であった。本市の自立支援事業は、複合的な課題に対して十分に対応できているのか。

答 就労準備支援事業は国の補助事業としては未実施だが、自立相談支援事業において一体的に実施している。財政や地域資源の限られた制約の中で、市民を置き去りにしないセーフティーネットを更に推進する。



井手口 忠信 議員

企業誘致には減免措置が必須と考えるか

答弁 減免措置より土地の価格・利便性・市の相談窓口が重要



▲これから始まる企業誘致策！

問 近隣市では、３年間の固定資産税減免などの企業を誘致するための施策を持ち合わせている。企業誘致を本市でも積極的に行い、本市を選んでもらうには、近隣市のような優遇措置が必須であると考える。本市の見解は。

また、企業への税制優遇措置を策定するのか。

答 県の企業立地課に助言を受けた際、企業が選ぶ土地の条件は、土地の価格と利便性、そして市に相談窓口があり円滑なやり取りができることが重要であると伺った。税制の優遇などは補助的要因とのこと。今年度、相談窓口を創設し、選ばれる体制づくりを始めた。

税制優遇については、今年度中に条例を策定する予定である。



大山 隆之 議員

新設小学校の通学路整備の課題と対策は

答弁 開校以降も継続的な対応が必要、対策の改善と充実を図る



佐伯 美保 議員

問 三辻川と手光今川の合流地点の三辻川6号橋は車の離合地点にもなっている。通学路としての課題や路側帯の設置、車の時間帯規制は。

また、通学路についての説明会や情報発信は。

答 道路幅が4m程度と狭いにもかかわらず、交通量が多いことに加え、車両運転者からの視認性を確保しづらいことが課題である。外側線による歩行者空間の明示を計画している。時間帯規制は地元の合意がないとできないため予定はない。

説明会は、7月2日と8日、年明けに行う。未就学児の保護者には年明けに行う。また、保護者には事前登録をお願いし、メールでの情報発信に努めたい。



▲新設小学校前の道路幅が狭い三辻川6号橋

他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
秦　浩	小中学校のプール施設について
中村　清隆	スポーツをする環境について
	市職員の働く環境について
倉元　敏徳	産廃処理場及び雑品スクラップ事業所等の課題に対する対応について

議員名	その他の質問
榎本　博	福津市中小企業振興基本計画について
	津屋崎地区観光施設整備事業について
	大峰山キャンプ場の運営について
山本　祐平	学校給食におけるアレルギー等の対応について
中村　晶代	公共施設の予約の流れについて
	災害発生時の安全対策について
岩下　豊	地域公共交通の充実について
豆田　優子	学びの機会をすべての子どもに保障するための取り組みについて
尾島　武弘	古墳の管理について
戸田　進一	豪雨対策について
	地域経済のにぎわいづくりについて
佐伯　美保	小中学校の学校図書館の整備状況等について
	松林への薬剤散布等について



コラム 議会提出議案ってなに？

議案には、市長が提出するものと議会が提出するものがあります。このうち議会が提出するものは、議員や委員会が発議または動議により、条例改正案や予算修正案、意見書提出案などを議会に提出します。

議員や委員会の発議等により提出された議案は、市長が提出した議案と同じく議会で審議され可否が決定されます。今回の「福津市議会基本条例の制定について」も議会運営委員会からの発議により議案提出されました。議員等が議案を提出することは、議会自らが必要な条例の制定・改廃や予算案の修正などをするための大切な仕組みです。



制度拡充が必要でも２年間はしないのか

答弁 必要な福祉施策は財源内で最適化を図り、優先順位で判断



▲障がい福祉に関するアンケートの結果

問 市の障がい福祉に関するアンケート結果では、「経済的な援助を増やしてほしい」が最多だった。これに対する見解は。

また、障がい福祉サービスの自治体間格差も課題。解消すべきでは。

訓練用ベッド購入費補助制度は年齢制限で使えない。家族負担軽減が目的の在宅レスパイト事業は年間48時間の利用枠では足りないなど、今困っている市民がいる。制度の拡充等が必要では。

答 地域で安心して暮らすには経済的安定が重要だと深く認識している。

障がい福祉サービスの自治体間の格差是正は当事者の声を聞き研究する。

制度拡充はまず施策内で最適化が重要。最終的には優先順位で判断する。



岩下 豊 議員

乳幼児保護者への香害の周知啓発方法は

答弁 乳幼児健診時のポスター掲示・園長会での周知は可能



▲国会（議員会館）でもパネル展を開催

問 香害の被害が大きくなる要因に「香り長持ち」がある。これは、マイクロカプセルに入った香料（化学物質）がカプセルの破れたタイミングで飛散するためと言われている。乳幼児の保護者に対しても香害の周知啓発が必要であると考えるが、市の見解は。

フレグランスフリー宣言は財政が厳しくても予算なしで実行できるが、検討できないか。

答 乳幼児健診時にポスター掲示などでの周知は可能。また、保育園等に向け、園長会での周知は可能である。公共施設を中心に着実に周知・啓発を進めていく。

フレグランスフリー宣言については、慎重な判断が必要だと考える。



豆田 優子 議員

農業用水路の土砂堆積の浚渫状況は

答弁 大規模な浚渫（しゅんせつ）は国や県の補助財源を活用し進めていく



▲土砂が堆積し雑草が生い茂っている農業用水路

問 農業用水路に土砂が堆積している箇所が多くある。浚渫には多大な経費がかかり、すべてに対応するのは難しいとは思うが、市の状況を伺う。

また、令和8年度に国や県の補助金を活用した農業施設に関する事業と、今後補助金申請を予定している事業を伺う。

答 小規模な浚渫は行っているが、大規模なものは国や県の補助財源を活用し事業を進めていく。

補助金での事業は、ため池廃止工事設計、防災ため池の耐震・劣化調査、昨年の豪雨で被災したため池等の災害復旧工事、堀切樋門の改修工事、排水機場の整備事業等。今後は圃場（ほじょう）の大区画化等加速化支援事業補助金を申請し、事業着手したい。



尾島 武弘 議員

豪雨災害検証を次の備えにつなげるには

答弁 河川監視カメラ等を設置し巡回点検、社協と連携を進める



▲まだ復旧半ばの被災箇所がある

問 昨年の豪雨災害で被害を受けた地域では、今年の出水期を迎え、「また雨が降ったらどうなるのか」という不安の声がある。検証を次に生かすために、どう取り組んだのか。また、災害時にボランティアが安心して活動できるよう、平時から災害ボランティアセンターの設置訓練や役割確認を進めるべきでは。

答 県が本木川に監視カメラと水位計を設置、市では28カ所に浸水センサーを設置、危機管理課の体制強化等を行った。復旧中など重点的に警戒すべき箇所は、豪雨時や豪雨後に巡回点検を行う。災害ボランティアセンターの設置訓練の予定はないが、社協と協議し、相互の連携等を進める。



中村 恵輔 議員

危険個所と指摘の通学路の安全対策は

答弁 指摘の危険個所は、学校に確認し必要な部局と相談する



▲交通量が多い道路を横断している状況

問 福間小学校区内で、危険個所と声が寄せられた市道浜田橋・花見線の花見の里三丁目付近で交通量調査を行った。横断に6・5秒かかる道路幅に対し、4・9秒に1台の交通量。児童は横断歩道がない道路を渡るが、現地確認は。また、西福間の福間郷づくり交流センター付近の地点は速度抑制のハンプ（段差）を設置すべき。どちらも通学路交通安全プログラムで危険個所として指摘されていた。早急な対策は。

答 市道浜田橋・花見線は過去に危険個所と指摘された時、現地確認はしていない。西福間の通学路にハンプ設置の提案だが、地域住民の承諾も必要。いずれにしても学校に確認し協議を始める。



戸田 進一 議員

委員会 調査リポート



各常任委員会が所管する市の　事務について行った所管事務調査を報告します。

総務文教委員会

総務部、経営企画部、教育部、会計課、監査事務局等の事務について調査研究しています。



学校施設の現状と課題について調査

学校施設の老朽化や児童・生徒数の増加に伴う施設整備の現状を把握し、学校施設等長寿命化計画の課題を調査した。

調査結果

令和2年3月に策定された学校施設等長寿命化計画では、学校施設ごとの健全度を数値化し、改修・改築の優先順位を示している。計画策定後は、児童・生徒数の増加に対応するため、福間小学校校舎増築、福間中学校校舎建設、新設小学校建築等を優先してきた。そのため、学校施設の長寿命化改修については十分に取り組めていない状況である。現計画の策定から6年が経過し、大型事業の内容や時期も整理されてきたことから、改めて計画を策定すべき時期が到来したと考える。

委員会からの提言

改めて長寿命化計画を策定するにあたっては、現行計画の検証を行うことが重要である。特に、長寿命化改修に十分取り組めていないことは、今後の計画策定にあたり重く受け止めるべきである。直近5年間で実施すべき事業を精査し、実施時期、概算事業費、財源の考え方を可能な限り具体的に示した実現可能な計画とするよう提言する。

報告書はこちら



▲早急に長寿命化改修を

市民福祉委員会

市民生活部、健康福祉部、こども家庭部の事務について調査研究しています。



第2次健康ふくつ21計画の取り組みを調査

健康寿命の延伸、健康維持・増進や生活習慣改善のための保健事業について、第2次健康ふくつ21計画の取り組みから現状と課題を調査した。

調査結果

第2次健康ふくつ21計画の取り組みの中に健康寿命の延伸があり、国と県は国民生活基礎調査と簡易生命表による健康寿命の算出をしているが、市では同様の算出ができないため国の指針に基づき算出。算出方法は違うが、国県より市の健康寿命は比較的長い。

市では、特定健診の受診率は横ばいであるため、受診率向上が課題。現在では、健診対象者の受診履歴等をもとに、AIを活用し健診受診を促す通知を作成して促進につなげている。

市の独自の取り組みとしては、65・66歳の市民を対象に心電図の検査を実施している。

委員会からの提言

市民の健康寿命が平均より長いのであれば、まちのPRになるので、その要因(食生活・環境)を調査するべきと考える。

久山町で実施されている産官学連携での特定健診は、健診受診率が高く、本市でもその仕組みを研究するべきと考える。

報告書はこちら



▲特定健診へ行きましょう！

建設環境委員会

経済産業部、都市整備部、農業委員会事務局の事務について調査研究しています。



第2次福津市環境基本計画の取り組みを調査

本市が推進する環境行政の現状と課題を把握し、今後の政策提言に資することを目的に調査を行った。

調査は、うみがめ課を対象とし、①環境基本計画の進捗、②生物多様性保全、③ごみ対策、④不法投棄対策、⑤地球温暖化対策の5分野について実施した。

調査結果

全市美化運動は年2回の開催が定着。ラブアース・クリーンアップは、今年度から特定日でなく6月の月間を通して実施する。

生物多様性保全は、市と環境団体が連携し保全活動を進めている。

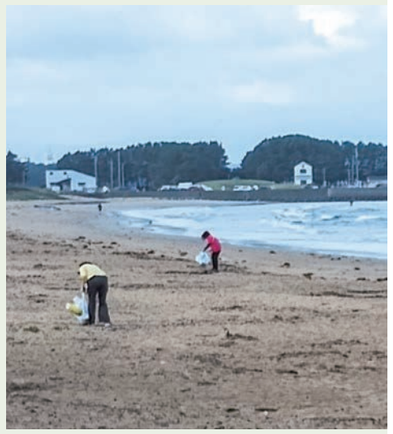
多様な漂着ごみ等は、市民ボランティアにより清掃活動が行われている。不法投棄は業者の不適正処理、スクラップ業者の進出等、構造的な課題が存在する。

地球温暖化対策は、2030年の46%削減目標に対し2022年時点で16%である。実行計画で対策を追加し達成をめざす。

委員会からの提言

環境行政は多様な主体と連携している一方、市民参加減少、発信不足、不法投棄の構造的課題への改善が必要。第3次計画策定では、本調査を反映することを求める。

報告書はこちら



▲市民ボランティアによる海岸清掃

コラム 世界の投票率は?

世界各国の投票率はどれくらいでしょう。

明治大学国際日本学部鈴木研究室の調査によると、OECD加盟37カ国の投票率のランキングは次の通りです。

1位	オーストラリア	90.7%
2位	ベルギー	87.4%
3位	ルクセンブルク	87.2%
⋮	⋮	⋮
33位	日本	53.8%
⋮	⋮	⋮

選挙制度は様々ですが、それぞれの国の歴史や考え方などが反映された投票率になっています。ぜひ制度の違いを調べてみては。

※国政選挙投票率(2026年2月時点の最新データ)



議会だよりふくつをお読みいただきありがとうございます。紙面に対する感想やご意見などがありましたら、声をお聞かせください。いただいた内容は今後の編集の参考とするほか、紙面で紹介する場合もあります。なお、原則、直接回答は行っていませんのでご了承ください。

きりとり

POST CARD

郵送する場合お手数ですが切手をお貼りください

811-3293
福津市役所
議会事務局 行

FUKUTSU 議会だより ふくつ　2026.夏号

フリガナ
氏名　　年齢　　歳

住所　〒　　－

電話番号（紙面掲載時の確認の際に連絡します）

ペンネーム

Public Relations
みんなと議会のいい関係

GFUKUTSU 夏
議会だより ふくつ

議会の傍聴 中継・録画配信

議会を傍聴してみませんか。傍聴の際は、傍聴規則を遵守し、大声や拍手を厳に慎んでいただきますようお願いします。なお、本会、予算・決算審査特別委員会は、中継と録画配信（開催日の翌日から原則３日以内に配信）もしています。

※託児サービスあり（要事前予約）

中継・録画配信

次回の定例会

９月定例会
８月27日㈭開会
９月18日㈮閉会予定

市議会HP

議会の地位

住民を代表する公選の議員で構成される地方公共団体の議事機関です。

議会の二つの使命

①地方公共団体の条例や予算等の団体意思を最終的に決定すること。
②執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法かつ適切に、公平で効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視すること。

議員の職責

議会の二つの使命を完全に達成できるよう懸命に努力すること。

編集後記

今回の特集は、選挙の投票率をテーマにしました。各中学校の生徒会長さん、アンケートにお答えいただいた市民の皆さん、ご協力ありがとうございました。本市の投票率は高いとは言えず、投票率向上は課題として重く受けとめています。投票率が高くなるということは、民意がしっかり選挙結果に反映されていると考えられます。本紙を読んでくださった皆さん、ぜひ選挙に行ってください。

（大山 隆之）

発行責任者　議長　髙山 賢二
議会広報調査特別委員会
委 員 長　中村 恵輔
副委員長　中村 晶代
委　　員　大山 隆之　岩下 豊
井手口 忠信　倉元 敏徳

議会基本条例制定



令和8年7月1日から議会基本条例を施行

令和８年６月定例会で議会運営委員会が「福津市議会基本条例制定について」を発議し、全会一致で可決、令和８年７月１日から施行しました。

令和５年に制定検討特別委員会を設置して検討し、令和７年から議会運営委員会で条例制定に向けた協議を重ねてきました。

条例第１条が定める通り「市民に身近で開かれた議会となることを目指し（中略）市民福祉の増進と公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする」に従って邁進してまいります。

◆これまでと何が変わる？

	これまで	施行後
傍聴	本会：公開 委員会：委員長の許可	本会、委員会ともに原則公開（議会運営委員会、広報に関する委員会を除く）
請願	委員会休憩中に請願者から説明等を受ける	正式な委員会中に請願者から説明等を受ける
陳情	議員に配布のみ	必要と認めるものは委員会で審査、陳情者から説明等を受ける

◆パブリックコメント

多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

提出：17人・68件
◎条例に反映したもの6件
◎今後検討していくもの
- 報告会・意見交換会
- 反問権付与
- 議員間討議など

◆今後の取り組み

行動の検証、見直し等の検討を適宜に行います。議会基本条例の詳細は下記ＱＲへ。

議会基本条例の検討　これまでの流れ

01 令和５年３月定例会
議会基本条例制定検討特別委員会を設置

02 令和５年３月～令和６年11月
先進地の条例比較
研修会の開催
条例項目の検討
条例草案の作成など
22回の委員会を開催

03 令和７年３月～令和７年12月
議会運営委員会で
条例と解説文の検討
９回の委員会を開催

04 令和８年１月21日～令和８年３月２日
パブリックコメント（市民意見公募）実施

05 令和８年３月～
議会運営委員会で
市民意見の検討

06 令和８年６月定例会
議会基本条例の発議

07 令和８年７月１日
議会基本条例施行

おたよりカフェ

議会だよりについての市民の皆様の感想やご意見を紹介します。

「議会だより」は市民と議員をつなぐツールですね

この「議会だより」は、政治に関心がない方が多い中、市民と議員をつなぐツールですね。特に「賛否表」は、市政の動きがひと目でわかり大変に良いと思います。できればもう少し表が大きいと見やすくて助かります。この「賛否表」で、市政の課題や問題点を一つ一つ拾いあげながら、解決に向け丁寧に議論されていることが分かります。

今後議会に期待したいことは、過去に大きな災害がなかった福津市ですが、昨年の大雨災害を契機として、市民をどう守るのか、防災・減災について活発に議論していただきたいと思います。

（J・Yさん／60歳代）

「おたよりカフェ」のページをもっと増やしてみては

このコーナーを毎号楽しみにしています。もっとページ数を増やしてみてはどうでしょうか。

「市政を問う」「疑義を質す」で、多くの課題が議論されていますが、どれだけ実行されたのでしょうか。

そのなかでも議論されていますが、体育館の空調設備は、新設小学校には設置されるのでしょうか。絶対に必要ですが、他の学校に通っている子どもたちを守るため、新設小学校以外にも体育館への空調設置を進めてもらいたいです。近年の暑さは異常です。福津市には小学校も中学校もありますが、この課題はいつになったら解決するのでしょうか。

（レモンパイさん／60歳代）

QRで動画が視聴できて便利ですね

前号の表紙の「勝浦人形浄瑠璃保存会」の写真と、特集のテーマ「未来に何を残すのか」がぴったり合っていました。伝統を残しつつ、緊急性や重要性の高い施策に市の力を集中する「選択と集中」、そして、将来を見通した市の予算の使われ方に、これからも注目しています。

市政を問う！のページのQRをスマホで読み込むと、議会での各議員の一般質問の様子を動画で見ることができるのですね。手軽に視聴ができました。今後は、動画も視聴してみます。

（ひまわりさん／40歳代）

表彰状

15年市政の振興に努められた戸田進一議員、榎本博議員に全国市議会議長会から表彰状が、また、評議員を務められた髙山賢二議長に感謝状が送られました。



▲左から戸田議員、髙山議長、榎本議員

ふんちゃんを探せ！ ふんちゃんクイズ 答え

①令和８年12月27日
②37.0%
③37カ国の中で33位
④令和８年７月１日

感想やご意見は、以下のはがきを切り取り、切手を貼って郵送するか、市役所、市図書館、津屋崎行政センター設置の意見箱に投函してください。なお、右の感想・ご意見フォームからも提出できます。

感想・ご意見フォーム

きりとり

議会だより ふくつ　2026.夏号

特集　投票率100%は不可能か?

Q1 今号でよかったと思う記事をご記入ください。

Q2 改善してほしいと思う記事をご記入ください。

Q3 紙面の感想やご意見があればご記入ください。

2026
令和8年
夏
No.
86

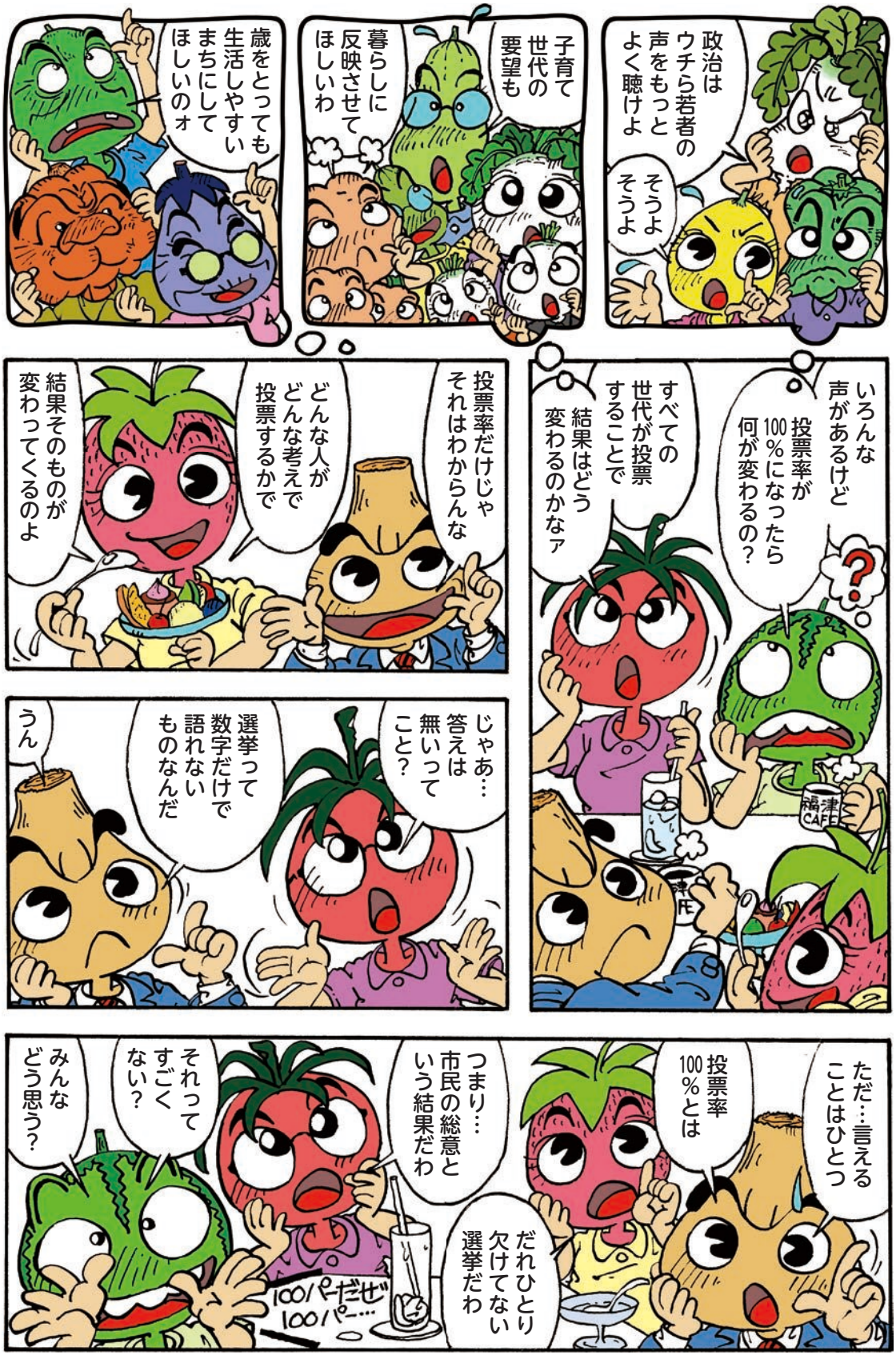
なるほど福津市議会 10

もしも、投票率100％だったら？

●誰一人取り残さない福津市へ

今年12月27日に福津市議会議員選挙が行われます。投票率は、前々回（平成31年）が51.6％、前回（令和４年）が37.0％でした。

政治は誰かに任せるものではありません。一人ひとりが「他人ごと」ではなく「自分ごと」として考え、誰一人取り残さない福津市をめざしませんか。



市民の、市民による、市民のための政治

近年は、若い世代の投票率が低い状況が続いています。その結果、若い世代の意見が反映されず、政策に偏りが生じ「市民のための政治」がなされなくなるかもしれません。

市民全体の意見が反映された「市民による政治」を実現するには、まず投票することが大切。12月27日の福津市議会議員選挙では、ぜひ、あなたの意志を示してください。

発行　福津市議会
編集　議会広報調査特別委員会

〒811-3293 福岡県福津市中央1丁目1番1号

☎0940-43-8144

印刷所　久野印刷株式会社

VEGETABLE OIL INK
UD FONT by MORISAWA